

◇『支部の事故防止活動』

副本部長・本部連絡副委員長 浅野 利幸
〔城東支部 浅野興業株〕



いつもお世話になっております。
本部連絡副委員長を仰せつかっております、城東支部の浅野でございます。
昨年末、当支部支部長の急逝により、城東支部では副支部長を中心に、役員、若手の青年部メンバーが一致団結して、支部の運営を続けている所でございます。

当支部の交通安全活動の取り組みについてお話させていただきます。

元々、交通事故の多発地域だった為、支部の重要課題として取り組んでおりました。昭和60年代、児童の事故が増えたため、青年部の事業として、児童のための交通安全教室を計画しましたが、当初小学校の校庭を痛める為、トラックを持ち込む事が中々出来ず、開催が難しくなっておりました。

城東警察交通課の担当主任が趣旨に賛同して頂き、終了後校庭を直すことを条件に開催に漕ぎ着けました。昭和63年11月に、江東区立水神小学校にて第1回目を開催し、トラックを使い自転車に人形を取り付けての飛び出し事故の再現、内輪差、死角等の危険性について実演を行いました。

このことがきっかけとなり、江東区城東地区小学校から声が掛かるようになり、現在まで30年以上続けております。

現在、飛び出し実演は、児童のショックが大きいとの事で行っておりませんが、左折時の死角体験、内輪差の実験、出合い頭の事故（自転車）、自転車の危険運転等の実演を行っております。

また、平成20年からは、会員各社より募集した安全標語を掲載した、支部オリジナルカレンダーを作成し、関係各方面に配布を始めました。

江東区長より絶賛を頂き、区内全小学校に配布したいとの声が掛かり、3年前より深川支部さんとの合同事業として行っております。

永年行っている交通安全活動ですが、少しでも事故の減少につながれば、今後も続けて行きたいと思っております。

◇『温故創新セミナー（沖縄）』

副本部長・企画副委員長 緋田 政人
〔中野支部 緋田運輸株〕



ゴールデンウィークも終わり、つつじの花も美しく咲き、初夏を感じさせる日が何日かあり、梅雨前が一番過ごしやすい陽気の今日、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私、企画副委員長を仰せつかっております、中野支部 緋田運輸株式会社 緋田政人です。

この度、ロジスティクス研究会温故創新セミナーで、沖縄のひめゆりの塔に行って参りました。

昨年ハワイのパールハーバーに続き、戦争の恐ろしさ、悲惨さ、愚かさを熟考させられた研修でした。

沖縄戦は、太平洋戦争末期の1945年3月23日に米軍の沖縄上陸作戦が開始し、日本軍と米軍の間での戦場となり、その

戦闘の激しさは「ありったけの地獄を一つにまとめた戦争」あるいは「鉄の爆風」と表現されるほどでした。

ひめゆり学徒隊は、沖縄師範学校女子部・沖縄県立第一高等女学校の生徒222名と教師18名の240名で那覇市の南東5kmにある南風原の沖縄陸軍病院に配属され、看護補助要員として負傷兵の看護や水汲み、飯上げ、死体埋葬にあたるために動員されました。生徒たちは何日かすれば家に帰れるものだと思っていたそうです。



【ひめゆり平和記念資料館前にて】



【資料館展示内の様子】

しかし戦況が悪化し、もう逃げる場所も無くなった時、6月18日突然の「解散命令」が出され、米軍の激しい砲撃の続く中に生徒たちが放り出されてしまいました。

数日間で100名余りのひめゆり学徒が死亡し、教師を含む227名の遺影が戦争の悲惨さを伝えています。



【ひめゆりの塔の前にて】

将来ある若者が命を奪われ、何の罪もない県民を含めた12万人余りが犠牲になってしまった現実を痛く感じました。また戦争の悲惨さは、語り継がれなければならないと思いました。

研修終了後、夜は、那覇市の国際通り沿いのお店で食事をして、懇親を深めてまいりました。

◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

- | | | |
|------------|--------|------------------|
| 5/15 (火) | 16:30~ | 三組織連絡会(東ト総合会館7階) |
| 6/5 (火) | | 青年部総会 |
| ○ 6/12 (火) | | ロジ研総会 |
| 6/14 (木) | | 女性部総会 |
| 6/22 (金) | | 東ト協総会(帝国ホテル) |